

2024(令和6)年2月

習志野市男女共同参画社会づくり情報紙

第57号

# きらきら Kira Kira きらきら

特集

“もっと”広がる女性のワークスタイル

～「できる」はあなたのスキル～



「家事・育児は女性の仕事」といった性別役割分担意識などにより、結婚、出産を機に仕事を離れてしまう女性が多くいます。そうした女性たちの活躍の場として、家事や育児の隙間時間を生かした働き方で地域の困りごとを解決するマッチングシステム「motto（もっと）」。

出産を機にパート就労に移行した経験をもち、このシステムを開発した市内在住の女性にお話を伺いました。

# ～人と人とのつながりで支えあえる

## 地域の拠点に～



おち さとこ  
**越智 聡子さん**

株式会社エコ・ネルフゼネラルマネージャー  
愛知県出身。  
建築会社の正社員として働き、出産を機に退職。3人の子どもに恵まれ子育てが落ち着いた頃にパート就労として復職。地元の友人に声を掛けられ現職に就き、「困った」を解決するWEBアプリ「motto (もっと)」の事業を立ちあげる。  
地域活動にも精力的に参加し、自宅一部をレンタルスペースとして貸出しながら、サークル活動の企画にも携わっている。  
女性のパワーで家庭・地域・日本を豊かにしたいという思いをもつ。

### 私が携わる事業

エコ・ネルフ自体は他の事業もやっていますが、私の担当はこの「motto (もっと)」というマッチングシステムです。  
地域には、急な事情で子どもの預け先を探している、怪我をして買い物に行けない、高齢で庭の草取りが大変などの困りごとを抱えている人が多くいます。一方、子育て中で「自立の仕方がわからない。」「個人事業主になるにはどうしたらいいの?」など活躍したいけどやり方がわからない人の相談も多く受けてきました。「motto (もっと)」はこうした「助けてほしい」と「私にできること」をつなぐことを目指したサービスです。核家族化が進んだ現代に、地域の人たちが助け合うことで、より明るい未来へつながって欲しいという願いがあります。

### 事業を始めたきっかけ

お互いの両親には頼れなかったため「子育ては(女性である)私が頑張らなければ」との考えから、出産を機に仕事を辞め、子育てに専念していました。子育てが少し落ち着き、パートとして仕事を再開した頃のことです。地域のコミュニティが大好きだったので、活動の様子をSNSにアップしていたのを、大学時代の友人が見て連絡をくれたんです。内容は、(友人が経営する)会社の新しい事業と一緒にやらないかというお誘いでした。当時はパートで一定の収入があったので、それを辞めるというのはかなり勇気がいって…友人といえども、すぐに返事ができずに、4ヶ月間悩みに悩みました。ですが「これからの女性はちょっとしたきっかけで、いくらでも活躍できる場所がある。」という会社の理念に共感したことや、今後自分がどう生きたいのか考えたとき「新しいことに挑戦してみるのも面白い!」と気持ちが変化したことが決め手になりました。いつも子どもたちに、何かやる前から「諦めちゃだめ」とか「チャレンジしてみなさい」と言う割には、私はずっと受け身でしたし、ここでチャレンジすることが、子どもたちにもいい影響になるかもしれないから頑張ってみよう!と決心し、始めてからもう2年が経ちます。

### 自分の特技を人のために生かす

以前にこんなことがありました。何気ない会話中にとっても上手に絵を描く友人がいて、私は瞬時に「それを生かして何かできないか?」と考えました。そこで、お店に飾る黒板アートの仕事を紹介したんで

す。そこでの評判がよく、他の仕事にもつながり、今では個人事業主として活躍しています。こんな風に些細なことがきっかけで、女性が自分の価値を自分で決めながら活躍できる社会が広がってほしいと考えています。

### 女性の活躍する場が広がるには

そのためには、事業所での働き方を変えていく必要があるのではないのでしょうか。事業所にとって、忙しい期間だけの業務委託という形態は、働き方のひとつになるのではと思います。例えば、「motto (もっと)」に登録した女性たちに、事業所がユーザーとして依頼することで、女性の活躍する場が更に広がっていくのではないかと思います。

### 自分にできる当たり前のことが人助けに

これまでの話から、スキルという何か資格を持っていないといけないように思われますが、料理や掃除することもスキルなんです。買い物に行くことも大変な人がいるので、普段自分が当たり前に行っていることが、当たり前できない人達をサポートすることにつながると考えたのがこのシステムです。誰でもできないことがあって当たり前なんです。だからできないことは人に頼り、できることで恩返しをする。みんな同じじゃないから自分のできることでお互い助け合えると思います。どの人にも可能性が絶対あると思うので、自分の可能性を信じてもらえたらいいなと思います。



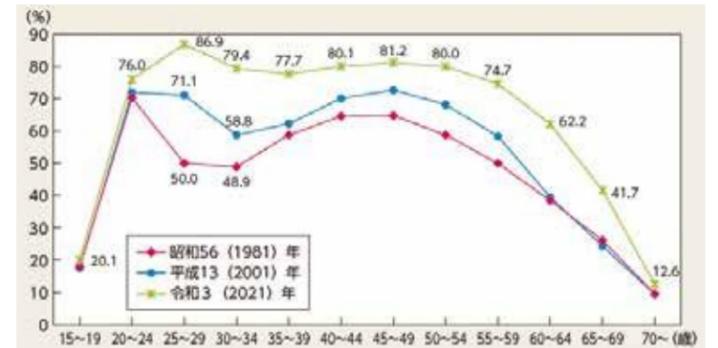
「自分を必要としてくれている人が一人でもいると思うと頑張れます。」と語る越智さん。

(取材担当：S委員・宍倉委員)

## きらきら★ キーワード 🔍 再チャレンジ

男女共同参画において再チャレンジとは、結婚や出産を機に一時的に就業から離れた女性が再び就労や起業をすることを言います。

女性の労働力人口を年齢階級別にグラフ化すると、20歳代・40歳代が山となり、出産、育児期にあたる30歳代が谷となる曲線となります。この形状が「M」の字に見えることから、「M字カーブ」と呼ばれています。出産、育児により労働力が下がることは、女性が社会活動に参画する上での課題とも言えます。就業を希望しながらも「家事・育児のため仕事が続けられない」という理由から求職活動が行えないという人も少なくありません。今回取材した越智さんの事業のように、多様な働き方によって女性の就労や起業を応援できる環境づくりが求められています。(佐藤委員)



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。  
2. 労働力率は「労働力人口(就業者+完全失業者)」÷「15歳以上人口」×100

出典：男女共同参画白書令和4年版  
女性の年齢階級別労働力率(M字カーブ)の推移

### ～事務局より～

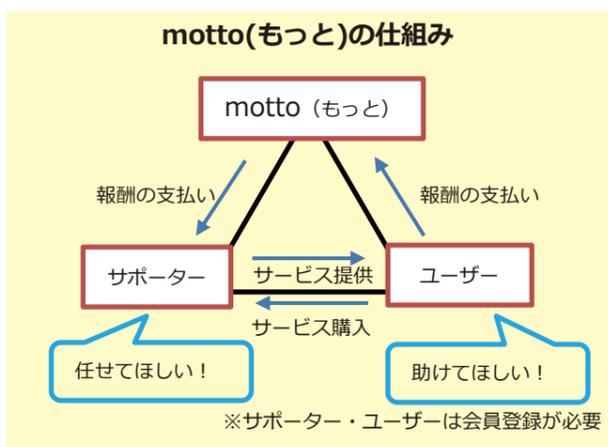
今号の作成に当たり、職場実習の一環として学生2名が編集委員会に参加しました。「委員会で内容を共有し意見を出し合い、取材の軸となる部分をどう掲載するかをすり合わせることや、記事を読み、委員それぞれの受け取り方が違わないよう話し合い、読者に的確に伝えることが必要と感じた。」「市民の委員が参加することで多様な視点や意見が増え、それぞれの視点に気付けることが分かった。」といった感想をいただきました。裏面の「おすすめ図書」では実際に記事も作成していただきましたので、ぜひご覧ください!



Mさん Nさん  
(東邦大学健康科学部3年生)

### 編集後記

出産や子育てを機に仕事を辞めた人が、再び活躍できるようマッチングの場を事業として始めた越智さん。その人が持っているスキルで地域の人々の困りごとを解決することは、時代の変化とともに多様化した現代の新しい働き方となっており、越智さんのこれまでのご経験から、女性にとって理想的な働き方が集約された事業と感じました。また、働き方や価値を自分で決めるという「組織に属さない(雇われない)働き方」があることを伺うことができました。



**編集委員のおすすめ図書**

**モンテッソーリ教育が教えてくれた「信じる」子育て**

著者：モンテッソーリ教師あきえ  
すばる舎  
発行 2021年



貸出番号：599-F-180

「子育てにおいて大切なことは子どもを尊重して信じることであり、大人の無条件の信頼が子どもの自立をサポートすることである。また、子どもの自立だけでなく、相手を尊重するかかわりを通じて大人もまた成長できる。」このことを念頭におき一児の母である筆者が、保育職の経験を踏まえて、誰もが持つであろう悩みについて0歳～6歳の幼児の育児を項目ごとに答えています。相手を尊重するのは育てている子どもだけでなく、子育て中のお父さんお母さんお互いを尊重し、子を育てていくことにあります。また、本文では、「生き生きと働く姿、毎日の生活を楽しむ姿をお子さんに見せてあげてください」とあります。特集記事で取材した越智さんもそうですが、大人が互いを尊重し仕事や家庭生活を楽しむことは、男女共同参画社会の姿の一つと言えます。育児本としてだけでなく、少し視点を変えて、男女共同参画の視点からもこの本をおすすめします。  
(高橋委員)

**東邦大学実習生のおすすめ図書**

**虫ガール ほんとうにあったおはなし**

ソフィア・スペンサー/マーガレット・マクナマラ 文  
ケラスコエット 絵/福本友美子 訳  
岩崎書店  
発行 2020年



貸出番号：367-I-146

この絵本の主人公は虫が大好きな女の子。2歳半のときから虫に夢中で、幼稚園では友達と虫クラブを作って、大好きな虫と触れあうことを楽しんでいました。しかし、小学校に入ると、虫が好きであることを「かわってるよね」「虫が好きな子なんてやだよ」とからかわれ、虫を好きでいることが嫌になってしまいます。そんな中、あることがきっかけで、再び自信を持って虫を好きだと言えるようになっていきます。この物語は実話であり、11歳の女の子のありのままの言葉で綴られています。多様性を認め合うことは、大人だけでなく子どもにも必要なことであること、学校にはいなくても、学校の外の世界には自分と同じ考えを持った仲間がたくさんいると気付かされる1冊です。  
(記事作成：東邦大学健康科学部3年 Nさん・Mさん)

◆上記図書は男女共同参画センターで貸し出ししています◆

**図書の貸し出しについて**

\*市内在住・在勤・在学者対象  
\*1回5冊まで、期間は2週間

右記 QR コードから市ホームページ内「情報ライブラリ」にアクセスし、男女共同参画センター図書一覧から本を決定、ちば電子申請サービスまたはお電話でお申込みください。



**◆男女共同参画コラム◆**

**「多様性」**

最近よく耳にするようになった「多様性(ダイバーシティ)」とは、様々な社会、民族的背景、性別、性的指向など、それぞれの人が持つ多種多様なバックグラウンドのこと。また、個人の違いを認め合い、尊重し合うことと定義されています。この世に命を授かったものには生存権がある一方で、自分と異質なものを排除しようとする傾向もあります。しかし、自分と違うからこそ、それを受け入れることで、自分と違う発想に出会えたり、自分たちに足りない部分を補い合ったりすることもできるのではないのでしょうか。自分と違う他者を認め合い、互いに影響を与え合うことで豊かな社会を目指したいものです。  
(宍倉委員)

**女性の生き方相談**

\*無料 \*要予約 \*秘密厳守 \*市内在住・在勤・在学者対象

◎夫婦のこと ◎家族のこと ◎人間関係のこと ◎自分自身の生き方について ◎これはDV?(ドメスティック・バイオレンス)…など 初めての方も安心してご相談ください。

<面接相談> 女性の専門相談員があなたと一緒に考えます。

日時：第1金曜 午後1時30分～3時10分・4時～7時40分

第2・4火曜、第3木曜、第3金曜

1回40分

午前9時～11時40分・午後0時30分～4時10分

申込：習志野市男女共同参画センター(ステップならしの)

電話：047(453)9307

**きらきら編集委員募集中!**

「きらきら」は、センター職員と市民ボランティアの編集委員が協働で発行しています。編集会議は、平日の月1回・オンラインによるリモート参加も可能です。見学いただくこともできますので、ご興味がある方は男女共同参画センターまでご連絡ください。

より良い紙面づくりのため、記事等に関するアンケートを実施しています。皆さんの率直なご意見・ご感想をお聞かせください。  
【回答方法】右記のQRコードから回答してください。

